

中東情勢を踏まえた燃料油・石油製品の安定供給確保及び重要物資の安定的な供給確保の対応状況

令和8年4月24日

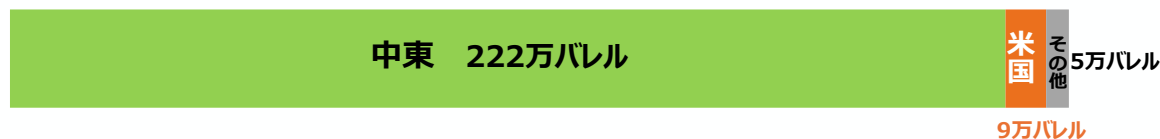
経済産業省

中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース

原油の代替調達の時時点の動向

- 原油について、5月は、現時点で、過半を超えて、約6割の代替調達の確保に目途がついたところ。
- 中東や米国に加え、中央アジア、中南米、アジア太平洋からの原油も届く見込み。
- 6月の代替調達についても、5月の水準を更に上回る水準を確保すべく、最大限取り組む。

2025年実績
日量236万バレル



4月調達分
(代替調達約2割以上)



5月調達分
(代替調達約6割)



(注1) 4月24日時点。契約手続きが未了分を含む。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じる。

(注2) 上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。

燃料の供給の偏り・流通の円滑化等への主な対応状況

- 直接販売スキーム及び前年同月比同量の要請を元に、118件を解消。

医療関係

- カテーテルの滅菌工程に必要なボイラー用A重油について、供給確保
- 手術用器械などの医療機器を製造する際に必要な潤滑油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施【直販】
- 医療機器の素材製造に使用するA重油について、供給確保

交通 ・公共サービス関係

- 九州地方の路線バスの軽油について、供給確保
- 海底ケーブル敷設船の燃料となるA重油について、供給確保
- 下水処理施設の雨水ポンプの運転に必要なA重油について、供給確保
- 中部地方のし尿処理施設で使用するA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施【直販】
- 学校給食の製造に必要なA重油について、供給確保

農水畜産業関係

- 乳製品工場で使用するA重油について、供給確保
- 九州地方の茶製造に必要なA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施【直販】
- 大規模な農村地域における農業機械用のガソリン・軽油について、供給確保【直販】
- 養殖の稚魚の飼料製造に必要なA重油について、供給確保

潤滑油に関する供給の偏りの解消事例

- 3月下旬以降、一部の流通事業者・需要家が供給不安から大量に潤滑油等を発注することにより、供給の偏りが発生したことを踏まえ、4月17日に、潤滑油等関係事業者に対して、前年同月比同量を基本とした供給を継続しつつ、こうした偏りを解消するための対応を要請。
- 直接販売スキームの活用や、前年同月比同量を基本とした販売の実施により、潤滑油の目詰まりや供給の偏りが解消される事例が見られている。さらなる目詰まりや供給の偏りの解消を行っていく。

<直販スキームによる供給確保の事例>

①手術用器械などの医療機器を製造する際に必要な複数の潤滑油

→ 従来の商社等からの供給が減少した分について、新規に複数の石油元売会社からの直接販売を実施。

<前年同月比同量の要請による需給状況の改善の事例>

②ステンレスパイプといった医療機器の製造に必要な潤滑油

→ 普段の取引先の供給状況が改善し、当面の在庫を需要家自身で確保。

③医療関連・防衛関連部品の金属加工のため必要な潤滑油

→ 石油元売会社から、当該製造事業者の在庫が尽きる前に潤滑油を手配。

潤滑油等のサプライチェーン

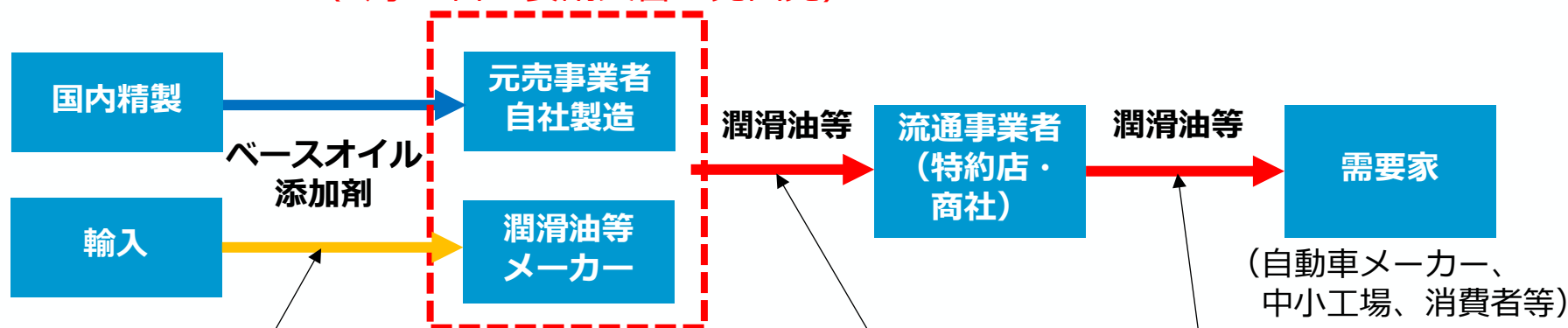
原料調達

潤滑油等製造

流通

消費

(4月17日の要請文書の発出先)



中東産の特殊なベースオイルといった、一部の高性能潤滑油原料の輸入が停止。
現在は、事業者が在庫調整で対応しており、代替品の調達を急いでいる。

• 3月下旬頃から、一部の流通事業者・需要家が供給不安から大量に潤滑油等を発注。
→供給に偏りが発生。

➡潤滑油等の供給の偏りの解消や安定供給確保のため、以下の要請を実施。

<資源エネルギー庁から、元売事業者・潤滑油等事業者への要請（抜粋）>

潤滑油等関係事業者の皆様におかれては、潤滑油等の安定的な供給に努めるべく、前年同月比同量を基本としつつ、3月に前年同月比量を上回る水準を購入した流通事業者や需要家に対しては4月以降の供給量を調整し、供給を継続していただくよう要請します。また、潤滑油等の安定供給という社会的責任の下、最終需要家に対して偏りなく供給されるよう、取引先にも対応を促すことを要請します。

なお、海外から輸入する基油（ベースオイル）などの原料の調達について、関係事業者間で調整の上、なお課題が生じている場合には、速やかに資源エネルギー庁に御相談いただくようお願いいたします。

接着剤について

<接着剤産業の概要>

- 接着剤は、多様な合成樹脂や溶剤等を原料とし、これらを用途に応じて配合して製造。
- 本年3月の生産量は前年同月比0.9%増であり、前年を上回る量を供給。



接着剤の主成分となる合成樹脂や溶剤等及び製品は、平時と同水準での供給は確保されている。

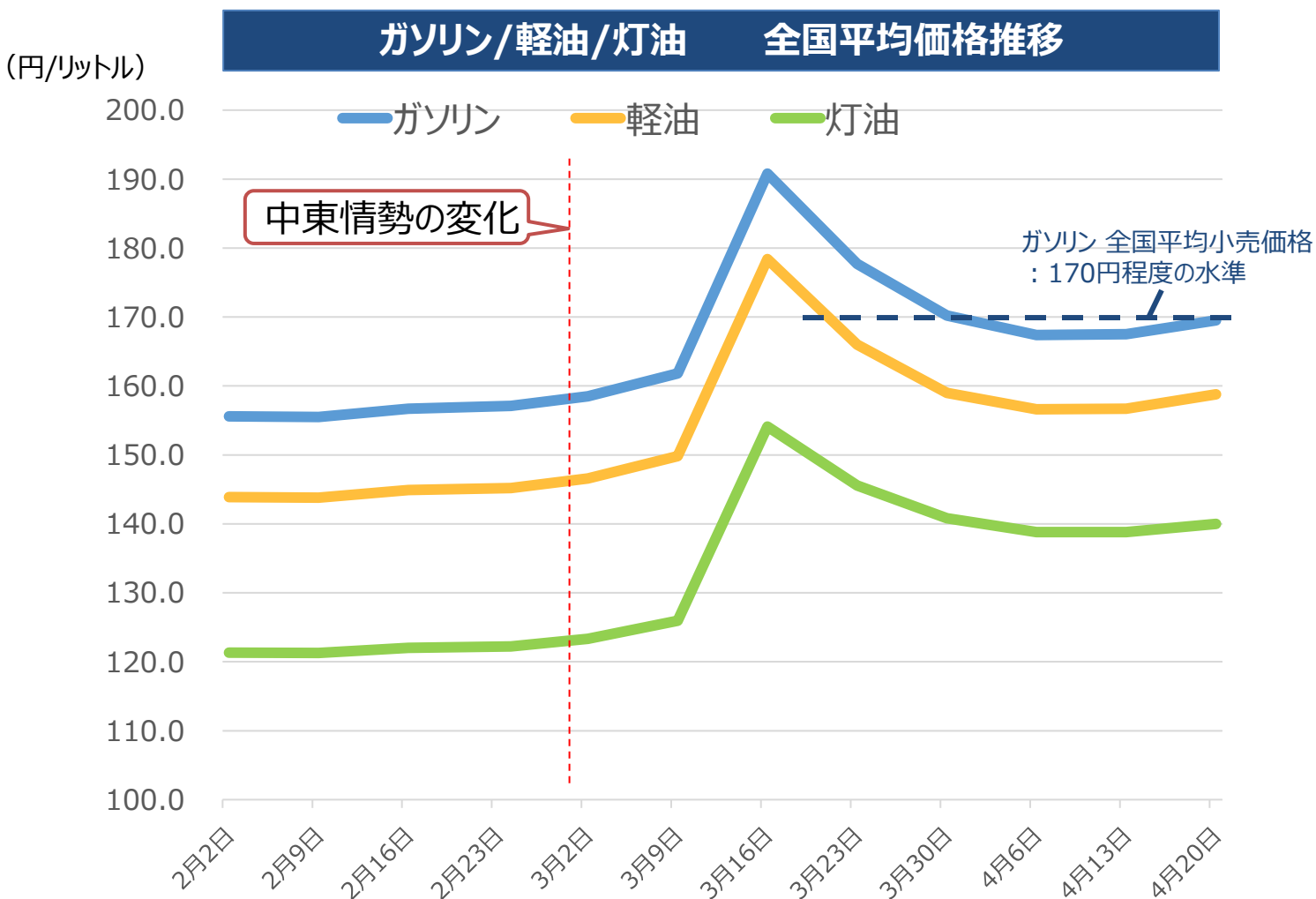
一部の流通・需要側が、供給見通しが未定なことから、実績を越える量を発注。
→供給に偏りが発生。

<政府及び接着剤産業の対応>

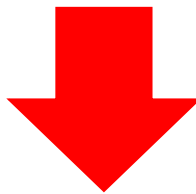
- ➡ 4月13日、**経産省**が、**溶剤等関係事業者**に対し、**接着材の原料となる溶剤の安定供給確保を要請**。翌4月14日、**国交省**が、**住宅業界等**に対し、**当該要請を周知**。4月21日、両省が連携し、**住宅・建材設備業界向けの説明会**を実施。並行して、**経産省**が、**生活製品業界に同じく周知**。
- ➡ 供給の偏り解消に向けて、**経済産業省の伴走のもと**、サプライチェーン間の**供給見通しを共有**するとともに、メーカーの**生産強化**や**在庫活用**により対応。これら取組により、**目詰まりを解消して供給を確保できた例あり**。
- ➡ 4月20日、**日本接着剤工業会**が、「**接着剤原料によって供給状況にばらつきはあるものの、当面の生産に大きな支障はなく、接着剤製品の安定供給に向けた取り組みを進めている**」旨を周知するとともに、需要側に対し、①**通常の事業活動に基づく適正な購買・在庫水準の維持**、②**過度な先行発注や買い占め行動の自制等**を協力要請。

緊急的な激変緩和措置について

- 緊急的な激変緩和措置を3月19日（木）から実施。
- ガソリン小売価格を全国平均で1リッター当たり170円程度に抑制するための補助を実施。
軽油、灯油、重油はガソリンと同額、航空機燃料はその4割を補助。
- これにより、制度開始前の3月16日（月）に**190.8円であったガソリンの全国平均小売価格は、170円程度**、
軽油、灯油もそれぞれ159円程度、140円程度の水準に低下。



| | |
|----------|--------|
| 3月16日（月） | |
| ガソリン | 190.8円 |
| 軽油 | 178.4円 |
| 灯油 | 154.1円 |



| | |
|------|--------|
| ガソリン | 170円程度 |
| 軽油 | 159円程度 |
| 灯油 | 140円程度 |
| の水準 | |

相談総数

5,536事業者（メーカー・卸業者：566、医療機関：4,970）

※一斉点検等や窓口により情報提供等を受け付けた中から相談を受けたものを対象としている。

※医療機関からの相談（4,970事業者）のうち、定点観測：127事業者、EMIS：791事業者、全医療機関からの情報提供窓口：4,052事業者

（前回との差：+2,580事業者（メーカー・卸業者：+211、医療機関：+2,369））

対応状況



品目単位で精査

※例えば約2,200の医療機関から相談のあった同種の手袋の供給に関するものは1つの品目とカウントするなど、品目単位で精査の上、その品目数を計上。

| | | 品目数 | （前回との差） |
|---------------------|-----------|-----|---------|
| ①安定供給に影響があると判断された品目 | | 58 | +24 |
| うち | ②対応検討中の品目 | 43 | +19 |
| | ③解決済みの品目 | 15 | +5 |

※医薬品・医療機器・医療物資等は、石油製品（中東産を含む）を原料としてアジア諸国にて生産されるものが一定あるところ、②の中にも、透析用チューブや手術時の廃液容器など、こうした製品について、ただちに供給が滞る状況ではないが、中長期的な安定供給に影響があると判断され、対応検討中となっているものがある。

<進捗状況>

③：新たに、血液検査分析装置の洗浄剤、鼻炎治療薬等の製造設備用のA重油、消毒液の容器、歯科用注射針のコーティング剤、透析装置洗浄剤の容器の供給不安を早急に解決済み。

解決済みの品目 （累計）

* 下線部：新たに解決済みとなった品目

- ・小児カテーテルの滅菌用のA重油
- ・効率的に薬剤投与が行える注射器のシリンジ（筒の部分）の滅菌用のA重油
- ・心臓を補助する特殊なカテーテルの滅菌用ガス
- ・医療機器の滅菌等の酸化工チレンガス
- ・医療機関の滅菌に必要なA重油
- ・医療機関で用いる消毒液（イソプロパノール）
- ・人工透析用の血液浄化器（ダイアライザー）の製造用溶剤
- ・人工透析用の注射針の滅菌用ガス
- ・献血バッグの製造用溶剤
- ・採血管をまとめる袋
- ・血液検査分析装置の洗浄剤
- ・鼻炎治療薬等の製造設備用のA重油
- ・消毒液の容器
- ・歯科用注射針のコーティング剤
- ・透析装置洗浄剤の容器

足下の主な対応

- ・4/16（木）に、医療用手袋の備蓄放出を決定。確保が困難となっている医療機関向けに、まずは5000万枚を放出することとし、今後の供給状況を踏まえ、必要に応じ追加で放出していく。5月からの配送に向け速やかに手続きを進める。
- ・4/20（月）時点で、802のメーカー・卸業者から一斉調査に対する回答を収集。未回答事業者を含め、引き続き積極的に回答を働きかけ。 1

中東情勢に関する透析資材の供給確保について

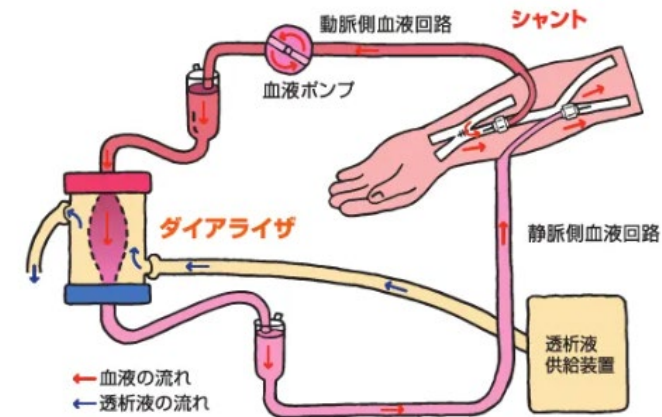
- 透析資材のうち、これまで寄せられた血液浄化器（ダイライザー）、注射針、透析装置洗浄剤に係る供給不安を解消。あわせて、透析用チューブの製造販売業者の供給・在庫量について、**9月末まで**の全国の必要量に対する十分な供給を確保。これにより、透析資材全般について、当面の安定供給を確保。
- 引き続き、透析資材の供給が途切れないよう、様々な取組を組み合わせながら、政府を挙げて万全を期していく。

供給確保の取組

| 品目 | 対応方針 |
|------------------------|--|
| A社の血液浄化器（ダイライザー）の製造用溶剤 | ・ 供給元企業に対する優先供給を働きかけ |
| B社の注射針の滅菌用ガス | |
| C社の透析装置洗浄剤の容器 | ・ 代替品の確保 |
| D社の透析チューブ（回路）の樹脂材料 | ・ 供給元企業に対する優先供給を働きかけ ・ 原材料の確保やメーカーによる増産 |

透析資材への対応方針

- 製造販売業者各社等の取組により、現在の在庫や、原材料の確保、増産の実施等の状況を踏まえると、透析のチューブについても、少なくとも**9月末までの全国の必要量に対する十分な供給を確保**できている。
- 中東情勢の先行きは、未だ予断を許さない状況にあることから、物資の需給動向を注視するとともに、**10月以降も安定的に供給できる体制を速やかに確保**するため、経産省と連携し、透析のチューブを始めとした透析資材について、サプライチェーンを特定し、**POWER Asia**（アジア・エネルギー・資源供給力強化パートナーシップ）**などの枠組みも活用しつつ**、供給元企業に対する優先供給の働きかけや、海外工場における原材料確保の取組を推進。
- また、業界団体とも連携して、事業者間での情報交換など**相互協力が可能な枠組みの構築**に取り組んでおり、事業者の協力が円滑に進むよう整理を進めている。
- 国内の透析医療を途切れることなく継続していくため、今後も、あらゆる手段を適切に組み合わせることにより、透析資材の供給確保に取り組んでいく。



(※) 一般社団法人日本腎臓学会「腎不全 治療選択とその実際 (2025年)」

農林水産業・食品産業関連資材の確保に向けた取組状況

1. 農林水産業・食品産業関連資材（農業用マルチ、農業ハウス用フィルム等の生産資材、コメ袋、食品包装用フィルム等の流通資材等）について、流通構造等の実態把握を実施中。

※ 農業資材のうち、精米したコメを包装する「コメ袋」は、主食を食卓に届けるために特に重要な資材。

また、保温等のために土壌を覆う「農業用マルチ」は、野菜等の安定生産に欠かせない資材。

「農業用マルチ」と並んで使用量大きい「農業ハウス用フィルム」は、耐用年数が長く、利用期間の延長も可能。

2. このうち、「コメ袋」と「農業用マルチ」の一部に供給の懸念があるとの情報を受け、農林水産省において、これらの製造事業者と原料の調達状況等について情報交換を実施。

その結果、国民生活への影響が大きい「コメ袋」については、経済産業省の協力の下、原料メーカーからポリエチレンの安定的な供給が継続される見通しとなった。「農業用マルチ」も、当面概ね前年実績の供給が可能であることを確認。

3. 一方、流通事業者や農業者からは、種々のプラ製農業資材の将来の調達に不安の声があるところ。このため、経済産業省と連携し、資材ごとの供給状況等に応じて、以下の取組を実施。

- ① 今後も引き続きポリエチレン等を安定的に供給するための原料メーカーへの働きかけ
- ② 農業資材の製造・流通事業者等に対して、調達支障時の関係者との協議と農林水産省への相談、受発注の平準化などを要請

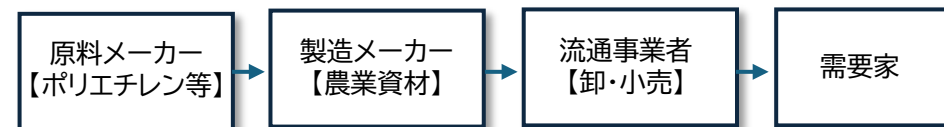


コメ袋



農業用マルチ

プラ製農業資材の流通フロー



供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件①

令和8年4月23日時点

国民の皆様のお困りごと一件一件にきめ細かく、迅速に対応し、供給の偏り・流通の目詰まりを解消しています

分野

解消事例

医療

- ・ 機器メーカーや医療機関での滅菌に必要な酸化エチレンガスを供給（全国規模）
- ・ 重い心不全の患者の心臓を補助する特殊なカテーテルの滅菌用ガスを供給（全国規模）
- ・ 効率的に薬剤投与が行える注射器のシリンジ（筒の部分）の滅菌用のA重油を供給（全国規模）
- ・ 低出生体重児の栄養補給に必須である小児用カテーテルの滅菌用のA重油を供給（全国規模）
- ・ 医療機関で用いる消毒液（イソプロパノール）を供給（全国規模）
- ・ 人工透析用の血液浄化器（ダイアライザー）の製造用溶剤を供給（全国規模）
- ・ 人工透析用の注射針の滅菌用ガスを供給（全国規模）
- ・ 献血バッグの製造用溶剤を供給（全国規模）
- ・ 採血管をまとめる袋を供給（全国規模）
- ・ 血液検査分析装置の洗浄剤を供給（全国規模）
- ・ 鼻炎治療薬等の製造設備用のA重油を供給（全国規模）
- ・ 消毒液の容器を供給（全国規模）

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件②

令和8年4月23日時点

分野

解消事例

医療（続）

- ・ 歯科用注射針のコーティング剤を供給（全国規模）
- ・ 透析装置洗浄剤の容器を供給（全国規模）
- ・ 病院などで使うリネンシートをクリーニングするためのA重油を確保（岡山）
- ・ 病院の調理場、ガス滅菌、エアコン等に使用するボイラー燃料のA重油を確保（北海道、長野）
- ・ 消毒薬や軟膏剤などの製造場で使用する重油を確保（埼玉）

交通・通信

- ・ バス・トラックの軽油を確保（三重、京都、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島）
- ・ 旅客船の軽油を確保（新潟、熊本、長崎）
- ・ 海底ケーブル敷設船の燃料となるA重油を確保（関東地方）
- ・ 自動車整備事業者で使用するシンナーを確保（岩手、埼玉）

食品・農業

- ・ 乳製品工場（脱脂粉乳製造工場）でA重油を確保（岩手）
- ・ 豆腐製造事業者でA重油を確保（兵庫）
- ・ 豆腐製造事業者で豆腐を入れる容器を確保（新潟）
- ・ 養殖魚や畜産用の飼料工場での製造に必要なA重油を確保（愛知）

※下線は、4月15日時点からの更新箇所

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件③

令和8年4月23日時点

分野

解消事例

食品・農業 (続)

- ・ 油脂や飼料・肥料原料の製造を行う工場での加工に必要なA重油を確保（岩手）
- ・ コメ袋製造メーカーで袋原料（ポリエチレンペレット）を確保（全国）
- ・ 農業用マルチの供給状況を調査し、前年実績の供給が可能と確認（全国）

環境・衛生

- ・ 下水処理場での運転に必要なA重油を確保（栃木、神奈川、兵庫）
- ・ ゴミ焼却施設で使用するA重油を確保（三重）
- ・ 廃油回収業者が使用するトラックの潤滑油を確保（千葉）

建設

- ・ シンナー原料を輸入し、供給量を確保（東京）
- ・ 塗装用のシンナーを新規ルートで確保（鳥取）
- ・ 一部のユニットバスの部材に使用するシンナー、メチルエチルケトン等を確保（福岡）

製造

- ・ 電線の製造で使用する重油を確保（富山）
- ・ 自動車・自動車部品塗装に使用するシンナーを確保（愛知）
- ・ ゴム製品の製造に使用するA重油を確保（奈良）
- ・ 靴の製造に使用する接着剤を確保（兵庫）

教育・その他

- ・ 学校給食の調理に必要なボイラー用重油を確保（兵庫、三重）

※下線は、4月15日時点からの更新箇所

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件④

令和8年4月23日時点

制度

解消事例

元売事業者からの重要施設向け燃料の直接販売スキーム

- ・ 手術用器械などの医療機器を製造する際に必要な潤滑油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施（千葉）
- ・ 中部地方のし尿処理施設で使用するA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施（三重）
- ・ 茶製造に必要なA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施（九州地方）

潤滑油等のサプライチェーン

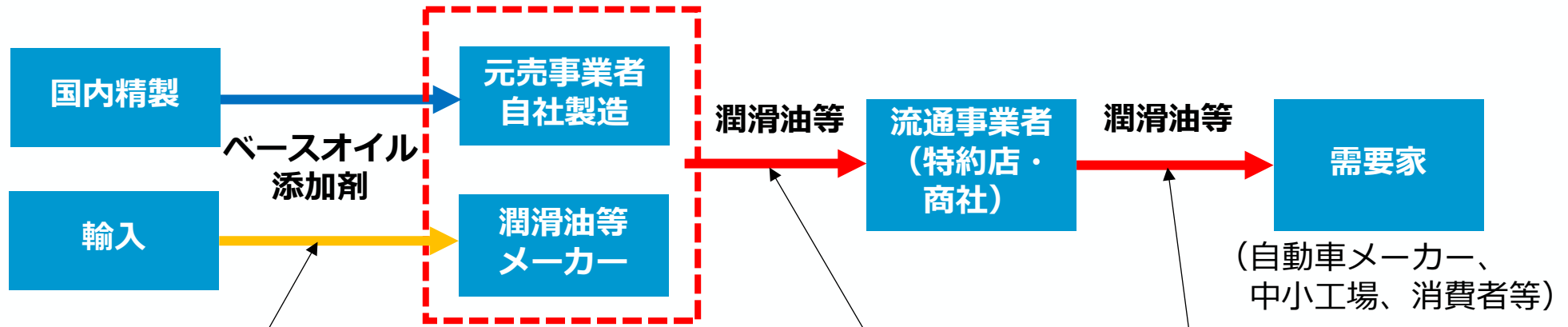
原料調達

潤滑油等製造

流通

消費

(4月17日の要請文書の発出先)



中東産の特殊なベースオイルといった、一部の高性能潤滑油原料の輸入が停止。
現在は、事業者が在庫調整で対応しており、代替品の調達を急いでいる。

• 3月下旬頃から、**一部の流通事業者・需要家が供給不安から大量に潤滑油等を発注。**
→供給に偏りが発生。

➔潤滑油等の供給の偏りの解消や安定供給確保のため、以下の要請を実施。

<資源エネルギー庁から、元売事業者・潤滑油等事業者への要請（抜粋）>

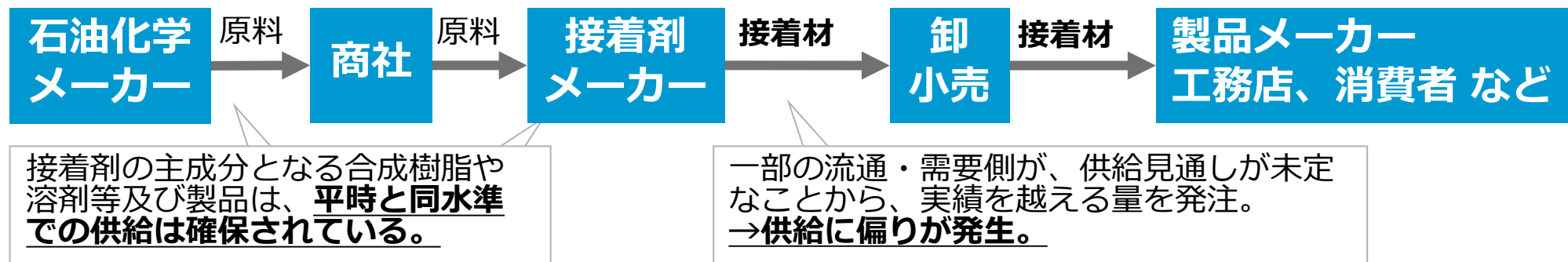
潤滑油等関係事業者の皆様におかれては、潤滑油等の安定的な供給に努めるべく、前年同月比同量を基本としつつ、3月に前年同月比量を上回る水準を購入した流通事業者や需要家に対しては4月以降の供給量を調整し、供給を継続していただくよう要請します。また、潤滑油等の安定供給という社会的責任の下、最終需要家に対して偏りなく供給されるよう、取引先にも対応を促すことを要請します。

なお、海外から輸入する基油（ベースオイル）などの原料の調達について、関係事業者間で調整の上、なお課題が生じている場合には、速やかに資源エネルギー庁に御相談いただくようお願いします。

接着剤について

<接着剤産業の概要>

- 接着剤は、多様な合成樹脂や溶剤等を原料とし、これらを用途に応じて配合して製造。
- 本年3月の生産量は前年同月比0.9%増であり、前年を上回る量を供給。



<政府及び接着剤産業の対応>

- ➡4月13日、**経産省**が、**溶剤等関係事業者**に対し、**接着材の原料となる溶剤の安定供給確保を要請**。翌4月14日、**国交省**が、**住宅業界等**に対し、**当該要請を周知**。4月21日、両省が連携し、**住宅・建材設備業界向けの説明会**を実施。並行して、**経産省**が、**生活製品業界に同じく周知**。
- ➡供給の偏り解消に向けて、**経済産業省の伴走のもと**、サプライチェーン間の**供給見通しを共有**するとともに、メーカーの**生産強化**や**在庫活用**により対応。これら取組により、**目詰まりを解消して供給を確保できた例あり**。
- ➡4月20日、**日本接着剤工業会**が、「**接着剤原料によって供給状況にばらつきはあるものの、当面の生産に大きな支障はなく、接着剤製品の安定供給に向けた取り組みを進めている**」旨を周知するとともに、需要側に対し、①**通常の事業活動に基づく適正な購買・在庫水準の維持**、②**過度な先行発注や買い占め行動の自制等を協力要請**。